

釣り台付き遊歩道（脇田海釣り桟橋）指定管理者検討会 会議録

- 1 開催日時 令和6年10月9日（水） 10:00～11:30
- 2 場 所 北九州市役所 本庁舎7階 顧問室
- 3 出席者 （検討会構成員） デワンカー・バート構成員、古川裕子構成員、
河内洋子構成員、小路眞里子構成員
（事務局） 産業経済局水産課長、漁政係長、担当職員

4 会議内容

- 当日の配布資料・議事次第等について、事務局より説明
- 検討会の位置づけ及び選定基準、採点の注意事項について、事務局より説明
- 構成員の互選により、座長を選出（デワンカー・バート構成員）
- 募集要項等について事務局より説明
（事務局） 前回募集時と比べて、人件費や物価の高騰を受けて、指定管理料の上
限額が上がっているのが、主な変更点である。
また、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、利用者数が減少し
ているので、応募団体にはその状況の改善を期待している。
- 各企画提案書について事務局及び応募団体より説明
（事務局） 今回、自主事業が追加となっている。
（応募団体） 休憩棟の2階をより活用していきたいと考えている。
当施設の近くで、洋上風力が建設されており、建設後はより景観が
良くなると思われる。
その景観を望めるカフェのような飲食店を、休憩棟の2階に導入す
ることを検討している。
また、魚礁等を整備し、釣果が安定するよう努めていきたいと思
っている。
- 応募団体より提案概要に関してヒアリング
（構成員） 当施設における、1日あたりの利用者数を教えてほしい。
（応募団体） 大体ではあるが、1日50名から100名が来場している。
（構成員） 入場者数が減少するという冬場に、集客を目的としたイベントは企画
しないのか。
（応募団体） 当施設は海上に建設されているため、高波等の影響を受けやすい。
冬場は常態的に波が高く、また、気温も低いことから、非常に危険

である。

そのため、冬場にイベントは企画せず、夏場に釣り大会等のイベントを企画していきたいと思っている。

(構成員) 夏場における暑さ対策はどのようにして行っているのか。

(応募団体) 休憩室にスポットクーラーを設置したり、施設内に自動販売機を設置することで対策している。

(構成員) 休憩室の2階にカフェのような飲食店を導入したいとのことだが、確実に実現できるのか。

(応募団体) 水道や下水といった問題はあるが、今後5年間のうちに実現したいと思っている。

- 構成員は、提案概要のヒアリングと質疑応答を受けて各自得点を記入し発表。その後、構成員全員で意見交換
- 審査項目「指定管理者としての適性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定
 - (構成員) 当施設が供用されてから、一貫して指定管理者に選定されているという実績面は十分評価できる。
 - (構成員) 業務従事者の教育が続いており、安定している。
- 審査項目「有効性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定
 - (構成員) 暑さや寒さ対策が不足していると感じる。
 - (構成員) 冬場の休園の多さから、例えば駐車場等で魚に対する様々なイベントを考えてみてはと思う。
 - (構成員) 季節ごとに投げ釣りやルアー釣りのコーナーを設置しているので、多彩な釣りを楽しむことができるのは良いと思う。
- 審査項目「効率性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定
 - (構成員) 経費等の節約が十分できているのではないかと感じた。
- 審査項目「適正性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定
 - (構成員) 落水事故が起きていないのは誇れることである。
 - (構成員) 地域との連携をより深くして運営してほしい。
 - (構成員) 安全性というのは重要性が高く、そこが問題なく運営できているのは評価できると思う。
- 事務局は合計得点を発表し、検討会としての検討結果（総合的な所見）について協議
 - (構成員) 広大な海を望むことができるという立地を大いに活用してほしい。

(構成員) 安全性については、全く問題ないといえるが、今後は総合的な安全訓練を実施し、より安全な施設を目指してほしい。

○ 意見交換を行った後、最終的な取りまとめを行い、検討会を終了した。